

精度の芸術



創業の地「ジュウ渓谷」

ジャガー・ルクルトの歴史はジュラ山脈に位置するジュウ渓谷に根差しています。穏やかなイメージを漂わせるこの環境が、マニュファクチュールのアイデンティティを築き上げました。この忍耐と静けさが溶け込んだ環境の中で、生粋の芸術の息吹を感じさせる精度の伝統が受け継がれています。

高度な技術と洗練された技の融合

ジャガー・ルクルトが考える時計製造技術の真髄は、熟練の技を駆使した多彩な精度技術の完璧な調和にあります。ミリオノメーターからジャイロトゥールビヨンの発明に至るまで、こうした高度な技術と洗練美の融合は、マニュファクチュールの希少なクラフトマンシップ（Métiers Rares®）の多様性および、同じ目的の下に集結した熟練時計職人の多彩なサヴォアフェール（ノウハウ）が物語っています。

職人と精度

創業以来、マニュファクチュールはムーブメントの精度と技術精度の探求を使命としてきました。こうした探求心は、年間を通じて静けさと穏やかさに包まれたスイス独特の自然環境の中で花開き、発揮されてきました。この環境から深い影響とインスピレーションを受けたマニュファクチュールの熟練時計職人たちは、1つ1つのデザインやテンプの振動、またガンギ車のなかに情熱と創意を宿して、常に精度の限界を打ち破ってきました。

無限のインスピレーションの源

ジャガー・ルクルト製ウォッチは、キャリバーからケースに至るまで、ひとつ屋根の下で設計・製造・組立てが行われています。こうした理由によって、同じ屋根の下に結集したおよそ 180 のサヴォ



アフェール（ノウハウ）とメティエ、シンプルなキャリバーから高精度キャリバーまでおよそ 1250 種類、ジャガー・ルクルトの名声はさまざまな数字と密接に関係しています。

この絶えざる精度の探求もまた、400 件の特許など世界初を記録した数々の数字に表れています。まず卓越性を追求したアントワヌ・ルクルトが発明した最初のピニオン切断用工具。続いてミリオノメーター（1844 年）。グランド・コンプリケーションを搭載した初のポケットウォッチ（1895 年）。ジオフィジック・クロノメーター（1958 年）。ジャガー・ルクルト製キャリバー920（1967 年）。マスター・コントロール 1000 時間（1992 年）。ジャイロトゥールビヨン 1（2004 年）。デュオメトル／デュアル・ウィングコンセプト（2007 年）。クロノメーターコンテスト 1 位（2009 年）。このリストはほんの一部であり、国内外で認められているマニファクチュールを象徴する精度に関する新たな発明によって絶えず数を増しています。マニファクチュール ジャガー・ルクルトにおいて、卓越性の追求、極細部へのこだわり、そして忍耐は、腕時計や置時計の設計・製造・開発における各工程に必要不可欠です。

技術的な精度から、正確無比で繊細な動きまで

ジャガー・ルクルトにとって精度は芸術そのものです。なぜなら芸術的な職人技の精度は、技術および機械精度に一致するためです。それは受け継がれてきたギョーシェ彫り、エナメル装飾、エンブレービング、ジェムセッティングを始めとする、メゾンと希少なクラフトマンシップ（Métiers Rares®）のサヴォアフェール（ノウハウ）から生み出された古の技です。

マニファクチュールでは、その名称が示すように職人の手に委ねられています。職人の手はプロトタイプをイメージしてデザインします。職人の手により、工具やインスツルメント、ムーブメントとその鼓動、素材、そして貴石に息吹が吹き込まれます。職人の手は絶えず進化を遂げます。それは細部にまでこだわりを貫き、正確で精密かつ適切な仕事を追求しながら、常識を打ち破る覚悟を意味します。

